

平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン
『#がんばろう竹原』

重点テーマ

平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興

10年後の将来像・目標像

将来像1 個性

自然・歴史・文化に育まれ、
人々に守られ磨かれた
資源が人々を魅了する
賑わいのあるまち

目標像1 竹原らしさを感じるまちに
人々が集まり賑わいが生まれている

将来像2 人材

“文教のまちだけには”の
精神を受け継ぎ、地域を支
え、世界中で活躍する人々
を輩出するまち

目標像2 子供たちが夢の実現に向け
挑戦できる環境が確保されている

目標像3 市民一人一人が自ら学び、
様々な場面で協力しながら活躍している

将来像3 活力

誰もがいつまでも
いきいきと
自分らしく輝く活力と
優しさがあふれるまち

目標像4 様々な仕事に挑戦できる元気な産業が
育ち、活気に満ちている

目標像5 誰もがお互いに尊重し合い、
いつまでもはつらつと活躍している

将来像4 基盤

瀬戸内の恵まれた風土と
市民の絆のもと、
誰もが安全・安心で快適に
生活できるまち

目標像6 生活の基盤が整備され、
快適に暮らしている

目標像7 市民が支え合う絆を大切に、
安全・安心な生活環境が確保されている

- たけはら元気プロジェクト
- ①自然環境 ②歴史・文化財 ③景観
④観光・交流 ⑤移住・定住
⑥コンパクトな市街地とネットワークの形成
 - ①子育て前の支援 ②子育て支援
③学校教育
 - ①生涯学習 ②協働のまちづくり
 - ①雇用・労働 ②商工業 ③農林水産業
 - ①人権推進 ②男女共同参画社会
③健康づくり ④高齢者福祉 ⑤障害者福祉
⑥地域福祉
 - ①道路網・港湾 ②住環境
③上水道・下水道 ④循環型社会
 - ①防災・減災
②交通安全・防犯・消費者行政

将来都市像

元氣と笑顔が織り成す
暮らし誇らし、竹原市。

「元氣」は、
市民の誰もが「いきいきと活躍する姿」と
本市の魅力を活かした
「交流や産業による賑わうまち」を表現しています。

「笑顔」は、
市民の「安全・安心で快適な心地いい暮らし」と
「互いに支え合う優しさ」を表現しています。

あふれる元氣と輝く笑顔が、幾重にも重なり、
市民一人一人が「たけはら暮らし」が「誇らしい」と思う。
本市は、
「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」
と思える元氣な竹原市の実現に向け、
「誰もが住みやすいと実感し、誇らしく思えるまち」を
目指します。



【将来都市像の使用フォント】
“元氣” “笑顔” 《HGゴシックM》
“と” “が織り成す” “暮らし誇らし、竹原市。” 《MS明朝》